

今月のスマイルさん  
Everyone to be happy with a smile



みちるさん(左)、  
すずかちゃん(右)親子

駅前チンドン夏まつりでお会いしました

寄せ書ききりの丸が遺族会平田支部へ

6/20

第2次世界大戦で出征時に寄せ書きされた日章旗が、東近江市遺族会平田支部へ返還されました。支部長の森田時雄さんは「日章旗が故郷に戻ってきて感無量です。今後、



「武運長久」の文字と友人や知人が署名した日章旗を囲む関係者

持ち主の遺族を探していきたい。」と話されました。この日章旗は、アメリカ人男性の依頼で、「OBONSOCIETY」(旧日本兵の遺留品返還活動組織)と平田地区関係者が出征者を上羽田町出身と絞り込み、返還が実現しました。

6/28

市立愛東病児保育室を開設



①開所式で行われたテープカット  
②診療を担当する横田医師(真ん中)と保育士

東近江市立愛東病児保育室の開所式を行いました。同保育室は、病状が快方向かっているものの、一般の保育所などで集団保育を受けることが難しい子どもを、1日3人まで受け入れる施設です。保護者の勤務などの都合により、家庭で子どもを看病することが出来ないことや、生後11か月から小学校就学前までの子どもで、事前に当施設を利用するための登録を済ませていることなどの条件があります。利用料は1人に

つき月額2,000円です。当施設は愛東支所の一部を改修し、保育室と観察室を1室ずつ設けています。あいとう診療所所長の横田哲朗医師が子どもたちを診察するほか、同診療所の看護師や湖東ひばり幼児園などの保育士が運営にあたります。横田医師は「市民の皆さんの家庭と仕事の両立の一助となるように頑張りたい。」と話されました。本市では今後2つの病児保育室を新たに開設する予定です。

仮装してみんなでパレード! チンドン夏まつり

7/9

JR能登川駅東口近くの本町二丁目通り周辺で、地元の親子連れらがチンドン屋に扮し、駅前をパレードしました。地元商店街や地域おこし協力隊の増田健多隊員が中心となって、地域や商店街を盛り上げていくために結成された能登川駅前賑わい創出実行委員会が、今回の夏まつりを企画しました。

参加者は、日ごろチンドン屋として活動されている「こうあん一座」から、化粧の仕方などを教わりながら、持ち寄った衣装で変身。その後、一座を先頭に約70人が駅前をパレードし、太鼓や鉦、手作りの鳴り物を鳴らしながら、見物客に笑顔を振りまきました。赤いチャイナドレス姿でパレードに参加した一木友絵さん(11歳)は「にぎやかな音を聞きながら歩いたので、



楽しい気持ちになりました。」と話してくれました。そのほか、特設ステージでの太鼓の演奏やビンゴゲーム大会に加え、露店も多数並び、会場は盛り上がりを見せました。

①本町公会堂でみんながチンドン屋に変身 ②パレードで笑顔を見せる ③県内の地域おこし協力隊も出店し、露店でにぎわう ④商店街を練り歩くチンドンパレード

湖上で熱いレース! ドラゴンカヌー大会

7/17

本市の夏を代表するスポーツ大会「第11回東近江市ドラゴンカヌー大会」が伊庭内湖に面した「能登川水車とカヌーランド」で開催されました。この競技は、龍を模したカヌー艇に船長1人、舵取

1人、漕手8人の合計10人が乗船して、片道150mのコースを折り返して速さを競います。今大会には74チームが出場し、熱気あるレースが展開されました。市民の部(自治会単位)で2連覇を果たした「大スイカ」の石井悟志さ

ん(38歳)は「地元のメンバーですと出場をしているので、チームワークの良さが勝因です。大人になってもみんなで一致団結できる数少ない機会なので、今後も出場したい。」と話されました。



①一斉にスタートするドラゴンカヌー ②船長の太鼓のリズムに合わせて、パドルを漕ぐ ③岸辺ではハイタッチで健闘をたたえ合う ④息のあったパドルさばきが勝敗の鍵を握る